

第1696・1697号

2024年
1月1日

定価1部600円
定期購読
半年 5400円
1年 10000円
振替番号
00140-5-95121

労働新聞

http://japanlabor.party/ shinbun@japanlabor.party

日本労働党中央委員会機関紙

発行所 労働新聞社 本社 〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-1-5 ポザール飯田橋2階
編集発行人 高橋信 電話 03-3265-6506 / FAX 03-3265-6507

北海道支社
〒001-0033
札幌市北区北33条
西6-1-10-206
電話 011-558-4441

関西支社
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-8
-29チサン第3新大阪501
電話 06-6586-9920

九州支社
〒812-0042
福岡市博多区豊1-3-8-302
電話 092-483-1344



神奈川・三浦半島から相模湾と富士山をのぞむ秋山議長

新春インタビュー

激動する世界、社会革命の 前途切り開く強大な党を

日本労働党中央委員会議長 秋山秀男

2024年の新春にあたり、秋山秀男・党中央委員会議長に歴史的転換期についての時代認識や社会変革についての展望、党の課題などについてインタビューした。

(聞き手・労働新聞編集長 平石義則)

平石 新年おめでとうございます。早速ですが、昨一年も世界は激動続きでした。年末には岸田政権を揺さぶる自民党・各派閥の不正事件も暴露され、内政も大揺れです。昨年を振り返ってみて、まさに「歴史的転換期」の様相が一段と深まったのではないかと思います。が、どうでしょうか。

秋山 おめでとうございます。今年、労働党創立50周年を迎えます。すべての同志、支持者、労働新聞読者、労働者、各界の先進的な皆さんに感謝の気持ちを表明するとともに、今後ともご支持・ご支援、ご批判とご鞭撻(べんたつ)をお願いいたします。また、とりわけ青年の皆さんに、歴史的転換期を切り開くために共闘を呼び掛けたいと思います。

さて、昨一年の主な出来事振り返ってみますと、いくつか特徴というか今の時代を象徴するような出来事があったと思います。世界経済はリーマン・ショック以来回復できず、コロナ禍やウクライナ戦争による分断がさらなる打撃になっています。米欧ともに進んだインフレ対策の利上げで、停滞が鮮明です。米国の対中抑止が一段と強まっていますが、米国内は大統領選挙を前に党派対立がさらに激しくなっています。欧州では「反移民」などを掲げた極右政党が台頭するなど、国民生活が悪化する中で、政治は不安定になっていますね。米欧で労働者のストライキが激しく闘われました。

その実現のために「独立の課題で主導権を握る」という政治路線が真価を発揮する時を迎えている。労働者階級と人民大衆こそが歴史と革命の推進力であることを確信し、労働者大衆と結びつき、党の飛躍的な建設を進めていきたい。この党と革命運動の前進を願う、多くの友人・知人・支持者の皆さんに、そして全党の同志、日頃ご無沙汰している同志の皆さんにも、「党創立50年記念講演・躍進のつどい」への参加、結果を熱烈に訴える。

党創立50周年記念講演・躍進のつどい

日時：2024年1月27日(土) 12時半開場

会場：スクワール麹町(JR中央線四ツ谷駅)



日本労働党は1974年1月27日、労働者階級の前進、共産主義を目指す革命政党として結党した。この50年間、転変する内外情勢のもとで一貫してアメリカを中心とする帝国主義に反対し、全世界の労働者人民、諸国の反抑圧の闘いを支持してきた。ここに、資本主義の行き詰まりのなかでどんな社会をつくるのかが問われている。わが党は、戦略的な方向としての社会主義、共産主義社会の実現を目指している。

本年もよろしくお願いたします

本号は新年特別号(去年の12月25日号と1月5日号の合併号)です。なお今年例年と異なり、1月15日号を発行します。

労働新聞社